

衛星データ利用者

大塚製薬株式会社(含むA&P
Inphatec , RIDGE VINEYARDS)

サービス提供者

大塚製薬株式会社(含むA&P Inphatec)、
一般財団法人モート・センシング技術センター、
株式会社東京地図研究社


実証事業概要(200文字程度)

Xylella菌を原因とするピアス病は、虫媒介によってブドウやオリーブ等の植物に感染、枯死させる疾患であるが2019年までに病原菌に有効な治療法や薬剤はなかった。米国カリフォルニアでは1998年から本疾患が拡散、対策費\$50M/年を講じているが、感染範囲も十分掌握されておらず、栽培者負担は\$56M/年に及んでいる。大塚製薬はピアス病の病原菌に有効な予防・治療薬(XylPhi-PD™)を開発し、2019年に米で承認取得。本実証事業において衛星データによる感染エリアの特定可能性を見出し、薬剤投与による感染範囲抑制と感染予防、そして将来的に、ブドウ生産の質と収穫量の向上を目的とする。

実証事業詳細(図表等を用いて説明)

衛星画像データを活用したピアス病予防戦略

実証概要



衛星画像によるブドウ園場
マッピング構築とブドウ樹の
状態のモニタリング
(枯れているかいないか)

期待効果

衛星画像により、ブドウ樹の枯
れているブドウ園場を特定

成果物

- エリア感染分布図
- 州単位でのピアス病対策
戦略立案
- 栽培者への感染情報提供

ピアス病感染マップ構築

- 早期ホットスポット特定
- 薬剤投与による感染拡散予
防・抑制

衛星画像による地域情報
+
薬剤による感染予防

PCRによるピアス病確定診断

- 園場ブドウ樹毎のピアス病確
定診断
- 園場での感染ブドウ樹マッピ
ング(分布図作成)

園場毎のピアス病感染情報